

製品名: TAAR5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18590**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	TAAR5
別名	TAAR5; PNR; Trace amine-associated receptor 5; TaR-5; Trace amine receptor 5; Putative neurotransmitter receptor
遺伝子 ID	9038.0
SwissProt ID	O14804
免疫原	抗血清はヒト TAAR5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 288-337

背景

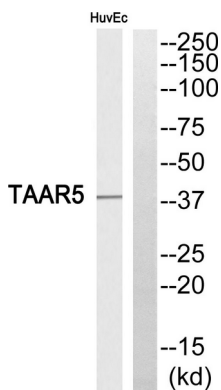
機能:オーファン受容体。リガンドはおそらく小分子で、微量アミンと類似性を持つもの（例えば、インドールアミン（5-メトキシト

リプタミンなど) またはフェニルエチルアミン (フェニルエタノールアミンなど) の誘導体)、あるいはアミノ酸または生体アミン神経伝達物質の代謝産物のいずれかである。、類似性:G タンパク質共役受容体 1ファミリーに属する。、組織特異性:骨格筋と、扁桃体、海馬、尾状核、視床、視床下部などの脳の特定の領域でほぼ独占的に発現している。黒質にも弱い発現が認められる。、機能:オーファン受容体。リガンドはおそらく小分子で、微量アミンと類似性を持つもの (例えば、インドールアミン (5-メトキシトリプタミンなど) またはフェニルエチルアミン (フェニルエタノールアミンなど) の誘導体)、あるいはアミノ酸または生体アミン神経伝達物質の代謝産物のいずれかである。インドールアミン (5-メトキシトリプタミンなど) またはフェニルエチルアミン (フェニルエタノールアミンなど) の誘導体、あるいはアミノ酸または生体アミン神経伝達物質の代謝物。、類似性: G タンパク質共役受容体 1ファミリーに属する。、組織特異性: 骨格筋と、扁桃体、海馬、尾状核、視床、視床下部などの脳の特定の領域にほぼ限定的に発現する。黒質にも弱い発現が認められる。、

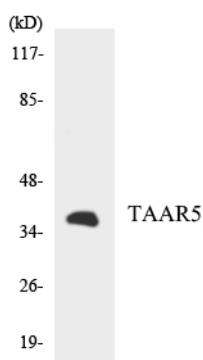
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



TAAR5 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは TAAR5 ペプチドでブロッキングされている。



TAAR5 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。